

消 防 費

・消防費

常 備 消 防 費

政 策 総 務 課

(1) 乙訓消防組合

乙訓消防組合に対し、分担金を負担した。

322,162,000 円

非 常 備 消 防 費

政 策 総 務 課

(1) 消防団は郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、団長以下一致団結し、防火防災活動を行った。

事 業 名	実施年月日	参加者数	場 所
ポンプ運用強化訓練	H30.4.8、6.11、10.14	35 人	大山崎消防署駐車場
ポンプ車操法訓練	H30.5.9～H30.8.1	605 人	大山崎消防署駐車場及び大山崎小学校グラウンド
初級団員教養訓練	H30.5.20	38 人	大山崎消防署駐車場
大山崎町水防訓練	H30.6.3	41 人	大山崎町大山崎五畝割地内
ポンプ車操法訓練町長・議長激励	H30.7.14	32 人	大山崎小学校グラウンド
乙訓支部消防操法錬成会	H30.7.22	30 人	長岡第10小学校グラウンド
京都府消防操法大会	H30.8.5	33 人	京都府立丹波自然運動公園
天王山ゆひまつり(消防フェスタ) 消防団コーナー	H30.11.4	11 人	大山崎小学校グラウンド
秋の火災予防運動に伴う広報パトロール	H30.11.9～14 6日間	38 人	大山崎町管内
年末特別警戒	H30.12.25～31 7日間	151 人	大山崎町管内(各分団詰所)
大山崎町消防出初式	H31.1.13	46 人	大山崎町体育館
幹部教養訓練	H31.1.20	27 人	大山崎消防署駐車場
活性化事業	H31.1.20	23 人	京都エミナース
春の火災予防運動に伴う広報パトロール	H31.3.1～6 6日間	35 人	大山崎町管内
乙訓二市一町総合消防訓練	H31.3.3	13 人	椿本チェーン長岡京工場

(2) 消防団は火災予防にも積極的に取り組むとともに、府立消防学校に団員を派遣し、各種の教育を実施した。

また、研修のため管外へも団員を派遣し、情報収集や見聞を広め、団員の資質向上に努めた。

○京都府立消防学校派遣研修

消防団員専科教育警防科 1日 3人 京都府立消防学校

消防団員幹部教育指揮幹部科分団指揮課程 1日 2人 京都府立消防学校

○京都府消防団視察研修 2日 1人 兵庫県

○全国消防操法大会視察研修 2日 11人 富山県

○京都府消防協会乙訓支部管外視察研修 2日 3人 愛知県

(3) その他

消防団は、毎月自主訓練を行っているほか、消防車両を常時出動可能な状態にしておくため機関点検等を行うなど、万一の災害に備えている。

消 防 施 設 費

政 策 総 務 課

(1) 水道事業会計負担金

3,564,000 円

消火栓等維持費

公設水利の維持管理費用

消火栓 240箇所

防火水そう 57箇所

} 297箇所×1,000円×12ヶ月

水 防 費

政 策 総 務 課

(1) 水防出動に備え、水防活動に必要な資器材を購入した。

水防活動用資材(土のう袋、ブルーシート、コンパネ、垂木、訓練用砂他) 151,765 円

(2) 桂川・小畑川水防事務組合

京都市・長岡京市・大山崎町で構成する水防事務組合の負担金 314,000 円

水防事務組合水防訓練

訓練日:H30.5.13

場 所:淀川右岸淀大橋下流河川敷

〈資料1〉 火災概要(過去3年間)

区分		年別	平成28年	平成29年	平成30年	昨年との比較増(減▲)
火災 件数	計		4	3	4	1
	建物		1	1	3	2
	車両		1	1	1	0
	林野		0	0	0	0
	その他		2	1	0	▲1
建物焼損床面積(㎡)			0	0	48	48
建物焼損表面積(㎡)			0	1	11	10
林野焼損面積(a)			0	0	0	0
焼損 棟数	全焼		0	0	1	1
	半焼		0	0	0	0
	部分焼		0	1	4	3
	ぼや		1	0	2	2
り災人員			0	5	22	17
り災 世帯	全損		0	0	1	1
	半損		0	0	0	0
	小損		0	2	11	9

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

区分		年別	平成28年	平成29年	平成30年	昨年との比較増(減▲)
死傷者	死者		0	0	0	0
	負傷者		1	1	2	1
損害額(千円)			126	644	9,023	8,379
主な火災原因	たばこ		1	0	1	1
	こんろ		1	0	0	0
	火入れ		0	0	0	0
	たき火		0	0	0	0
	火あそび		0	0	0	0
	こたつ		0	0	0	0
	電気機器		0	1	0	▲1
	配線器具		0	0	0	0
	放火・放火の疑い		0	0	0	0
	その他		2	2	3	1
	不明		0	0	0	0
	計		4	3	4	1

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

〈資料2〉 救急活動概要(過去3年間)

区分		年別		平成28年	平成29年	平成30年	昨年との比較増(減▲)
		平成28年	平成29年				
出 動 件 数				1,104	1,093	1,169	76
取 扱 件 数				1,040	1,024	1,083	59
事 故 別	交 通 事 故			125	122	101	▲21
	急 病			671	648	731	83
	一 般			182	194	200	6
	そ の 他			126	129	137	8
救 護 人 員				1,054	1,030	1,096	66

事故別の出動状況を見ると急病が731件と最も多く、全体の約 60%を占めた。

(乙訓消防組合統計より)

大山崎消防署が出動した件数で、町外への出動を含む。

〈資料3〉 消防団の出動状況(平成30年度中)

区分		種別	計	災 害 出 動			演 習 ・ 訓 練	広 報 活 動	研 修 ・ 会 議	機 関 点 検	特 別 警 戒	そ の 他
				火 災	う ち 林 野							
					捜 索 活 動	風 水 害 等 の 災 害						
消 防 団	出 動 回 数	122	1	0	0	2	30	12	24	36	6	11
	出 動 延 人 員	1,605	9	0	0	84	731	73	127	323	130	128

消防団員は、火災、その他の災害による被害を最小限にとどめるため、専門知識の習得、技術の練磨を重ねた。

1. 災害対策(警戒)本部設置状況

各種気象警報等の発表・被害の発生に伴い、災害対策(警戒)本部を計10回設置した。

設置日	事象	避難情報など
平成30年6月18日 (月)	6月18日7時58分 大阪府北部を震源とする最大震度6強の地震発生 大山崎町の震度は5強 災害対策本部設置 6月19日0時31分 余震と思われる震度4の地震発生 6月22日17時30分 災害対策本部閉鎖	6月18日8時20分 被害状況パトロール実施 11時30分 ふるさとセンター、第二大山崎小学校、 大山崎中学校に避難所を開設 12時30分 ブロック塀・瓦危険個所にかかるパトロール実施 危険個所にカラーコーンなどで明示 16時00分 濁水発生に伴う給水活動を7ヶ所で実施 6月19日5時00分 避難所2か所(第二大山崎小学校、大山崎中学校) 閉鎖 6月20日8時00分 避難所(ふるさとセンター)閉鎖 6月22日 罹災証明申請受付開始
平成30年7月5日 (木)	7月5日3時34分 大雨警報(土砂災害)発表 災害警戒本部設置 7月5日7時45分 土砂災害警戒情報発表 7月5日21時24分 洪水警報発表 7月5日22時15分 指定河川氾濫危険情報 (氾濫危険水位レベル4(桂)) 7月6日5時30分 氾濫注意水位を下回る(桂) 7月6日7時49分 洪水警報解除 7月6日12時16分 洪水警報再発表 7月6日13時55分 指定河川氾濫危険情報 (氾濫危険水位レベル4(桂)) 7月6日22時50分 京都府北部各市町に特別警報(大雨)発表 7月7日0時40分 指定河川氾濫危険情報 (氾濫危険水位レベル3(桂)) 7月7日1時20分 指定河川氾濫危険情報 (氾濫危険水位レベル2(桂)) 7月7日1時32分 洪水警報解除 7月8日8時10分 土砂災害警戒情報解除 7月8日10時17分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	7月5日9時00分 天王山山麓の1,200世帯3,000名を対象に 避難勧告発令 ふるさとセンター、第二大山崎小学校に 避難所を開設 18時40分 JR線路よりも東側(桂川側)の3,300世帯7,800人を 対象に避難準備・高齢者等避難 開始発令 大山崎小学校、大山崎中学校に避難所を開設 20時15分 避難指示(緊急)発令(土砂災害) 22時45分 避難勧告発令(洪水) 7月6日5時50分 避難勧告解除(洪水) 大山崎小学校、大山崎中学校避難所を閉鎖 13時20分 JR線路よりも東側(桂川側)の3,300世帯7,800人を対象 に避難準備・高齢者等避難開始(洪水)再発令 大山崎小学校、大山崎中学に避難所をを再開設 17時20分 避難勧告再発令(洪水) 7月7日1時30分 避難勧告再解除(洪水) 6時30分 避難勧告再解除(洪水)に伴い大山崎小学校、 大山崎中学校避難所を再開鎖 7月8日8時10分 避難指示(緊急)(土砂災害)解除 避難所(ふるさとセンター、第二大山崎小学校)閉鎖

設置日	事象	避難情報など
平成30年7月9日 (月)	7月9日14時41分 大雨警報(土砂災害)発表 災害警戒本部設置 7月9日15時10分 土砂災害警戒情報発表 7月9日18時00分 土砂災害警戒情報解除 7月9日21時25分 大雨警報(土砂災害)解除 災害警戒本部閉鎖	7月9日16時00分 天王山山麓の1,200世帯3,000名を対象に 避難準備・高齢者等避難開始発令 ふるさとセンター、第二大山崎小学校に避難所を開設 18時00分 避難準備・高齢者等避難開始解除 避難所閉鎖
平成30年7月28日 (土)	7月28日15時56分 暴風警報発表(台風第12号) 災害警戒本部設置 7月28日19時34分 大雨警報(土砂災害)発表 7月29日6時15分 大雨警報(土砂災害)解除 7月29日7時26分 暴風警報解除 災害警戒本部閉鎖	7月28日22時00分 天王山山麓の1,200世帯3,000名を対象に 避難準備・高齢者等避難開始発令 ふるさとセンター、第二大山崎小学校に避難所 を開設 7月29日6時20分 避難準備・高齢者等避難開始解除 避難所閉鎖
平成30年8月23日 (木)	8月23日15時59分 暴風警報発表(台風第20号) 災害警戒本部設置 8月23日18時25分 大雨警報(土砂災害)発表 8月24日5時15分 大雨・暴風警報解除 8月24日6時15分 災害警戒本部閉鎖	8月23日17時30分 天王山山麓の1,200世帯3,000名を対象に 避難準備・高齢者等避難開始発令 ふるさとセンター、第二大山崎小学校開設 8月24日5時15分 避難準備・高齢者等避難開始解除 避難所閉鎖
平成30年9月4日 (火)	9月4日6時15分 暴風警報発表(台風第21号) 災害警戒本部設置 9月4日10時14分 大雨警報(土砂災害・浸水害)発表 9月4日21時29分 暴風警報解除 9月5日4時10分 大雨警報(土砂災害・浸水害)解除 9月5日4時50分 災害警戒本部閉鎖	9月4日10時00分 天王山山麓の1,200世帯3,000名を対象に 避難準備・高齢者等避難開始発令 ふるさとセンター、第二大山崎小学校に避難所を開設 9月5日4時10分 避難準備・高齢者等避難開始解除 避難所閉鎖 9月5日 罹災証明申請受付開始

設置日	事象	避難情報など
平成30年9月7日 (金)	9月7日23時23分 大雨警報(土砂災害)発表 災害警戒本部設置 9月8日2時47分 大雨警報(土砂災害)解除 9月8日2時50分 災害警戒本部閉鎖 9月8日3時15分 大雨警報(土砂災害)再発表 災害警戒本部再設置 9月8日16時15分 大雨警報(土砂災害)解除 災害警戒本部閉鎖	
平成30年9月9日 (日)	9月9日16時10分 大雨警報(土砂災害)発表 災害警戒本部設置 9月10日17時35分 大雨警報(土砂災害)解除 災害警戒本部閉鎖	
平成30年9月30日 (日)	9月30日6時45分 暴風警報発表(台風第24号) 災害警戒本部設置 10月1日1時40分 大雨(土砂災害)警報、暴風警報解除 10月1日6時55分 災害警戒本部閉鎖	9月30日13時00分 台風の接近に伴い大山崎町全域の6,384世帯 15,602人に避難準備・高齢者等避難開始発令 ふるさとセンター、大山崎小学校、 第二大山崎小学校、大山崎中学校に避難所開設 10月1日1時40分 避難準備・高齢者等避難開始解除 大山崎中学校避難所閉鎖 2時20分 大山崎小学校避難所閉鎖 5時20分 第二大山崎小学校避難所閉鎖 6時00分 ふるさとセンター避難所閉鎖 10月1日 罹災証明申請受付開始

○罹災証明発行件数(平成31年3月末時点)

大阪北部地震:357件

台風21号 :241件

台風24号 :5件

2. 防災パトロール

大山崎町地域防災計画に基づき、出水期を迎えるにあたり、防災関係機関の協力を得て、災害時に危険が予想される箇所の総点検を実施し、防災上必要な対策を検討し、万全を期すことを目的に実施した。

○実施日：平成30年5月17日（木） ○参加者数：27名

○パトロール箇所：西法寺里ノ後線アンダーパス、小泉川長慶橋付近、大山崎排水ポンプ場

3. 自主防災組織の支援

- 自主防災組織の活動を支援するため、自主防災活動補助金を支出した。
 - ・自主防災活動補助金：303,201円（計8団体）

4. 防災訓練について

平成30年度の大山崎町総合防災訓練は、9月9日（日）に予定していたが、9月4日（火）の台風第21号により、町内に大きな被害が出ていたことと、北海道胆振東部地震など、全国的に頻発していた災害への対応のため、関係機関の参加が困難になることなどを勘案し、中止した。

5. 防災資機材等の整備

備蓄用の飲料水、食料及び非常用毛布を調達、避難所に配備した。

地震・大雨・台風と相次ぐ被災を受け、ヘッドライト・ブルーシート・カラーコーンなどの防災資機材を購入した。

6. 防災啓発の実施

○出前講座：防災に関する出前講座を計12回実施し、延べ369名の方が受講した。

○広報：4月号から12回にわたり「広報おおやまざき」に防災記事を掲載し、住民の防災意識の高揚を図った。

○最新の浸水想定区域等を掲載した、大山崎町防災ハザードマップを作成（更新）し、平成31年3月に全戸配布を行った。
また、町のHP上に拡大・縮小が可能なWEB版のハザードマップを掲載した。